

2023年1月19日
FCNT 株式会社
株式会社ティ・エム・エフ・アース
株式会社サムシング

～FCNTの「arrows BZ02」を採用したTMF Earthのウェアラブルカメラ「LINKEYES」が、途切れずクリアな画像と音声で遠隔臨場・遠隔支援を実現～

株式会社ティ・エム・エフ・アース（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 斎藤浩、以下 TMF Earth）と FCNT 株式会社（本社：神奈川県大和市、代表取締役社長 田中典尚、以下 FCNT）は、両社で共同開発した遠隔臨場・遠隔支援向けウェアラブルカメラを、株式会社サムシング（本社：東京都江東区、代表取締役会長 前俊守、以下サムシング）が地盤調査・改良作業の遠隔監視、作業記録に採用し、建設現場の DX を推進していくことで合意しました。

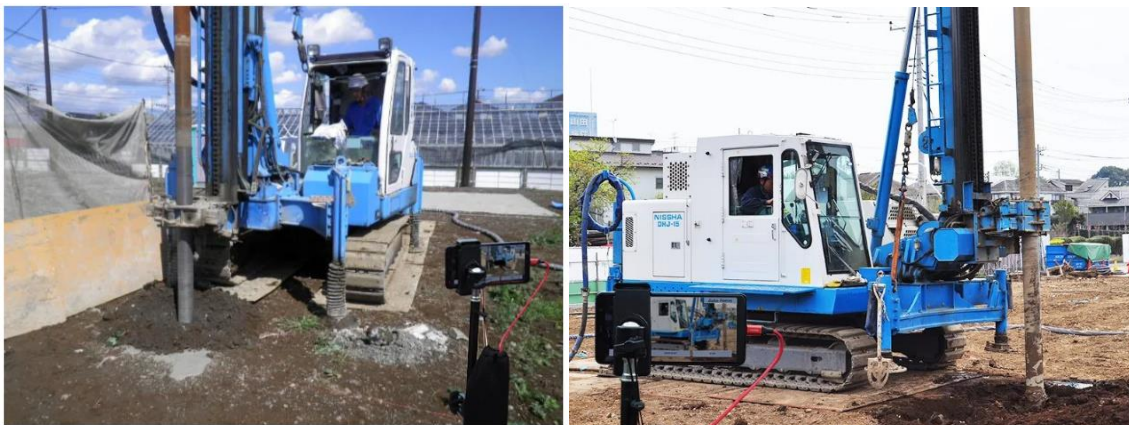
建設現場の地盤調査・改良においては従来、日本各地に点在する現場で起こる様々な状況に対し、作業員が実際に足を運び目視で確認して対応する必要がありますが、昨今人手不足が進む中、現場の安全を確保し、安定したサービスを提供するためにも遠隔臨場、遠隔支援の導入による課題解決が求められています。特に、現場の安全を確保する上で、隣接する建物との距離や寸法、大雨の後に水没している箇所などがないかを確実に把握することは重要な事項となります。

地盤調査・改良専門のサムシングが導入した TMF Earth のウェアラブルカメラ「LINKEYES」は、堅牢性に優れた FCNT の法人向けスマートフォン「arrows BZ02」上に、遠隔臨場・遠隔支援用システムを構築しています。通信帯域が 250kbps に圧縮されているため、他社の製品とは比較にならないほど、あらゆる環境において通信が途切れません。さらに部材の質感が分かるほどにクリアな画像と音声で遠隔臨場・遠隔支援を実現し、作業員による現場での目視と同等のクオリティで遠隔の状況を把握できます。また、耐久性に優れているので、天候や温度の変動が激しく、過酷な環境である建設現場においても安定した映像配信環境を提供し、安心・安全を約束します。作業員が遠隔で現場対応できることにより、人手不足を解消し、不要となった移動時間を他の作業に充てられるので、コストパフォーマンス向上にも貢献します。

今後、TMF Earth と FCNT、サムシングは、互いの強みを最大限に生かし、サムシングが全国で実施している地盤調査・改良作業にウェアラブルカメラを随時導入し、業界のリーダーとして建設現場の DX を推進していきます。

TMF Earth は、一人ひとりが安心して生き生きと暮らせる未来のために、人々の常識を超える発想と先進テクノロジーで、人・物・コトをもっと快適につなぎ、新たな価値を創造してまいります。

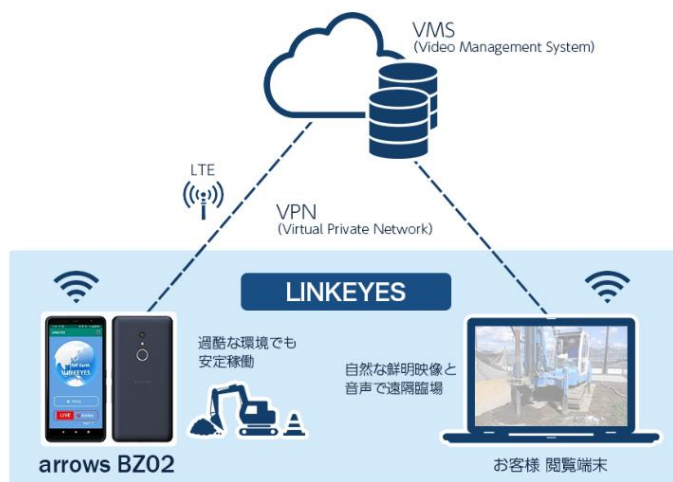
「arrows BZ02」と「LINKEYES」で現場の様子を定点観測している様子



「arrows BZ02」と「LINKEYES」で送信した映像は、PCで現場と各地の管理部とリアルタイムで共有される（右下の監視PC画像は再現イメージ）



<システム構成>



FCNT

T M F
E A R T H

 **SOME THING**